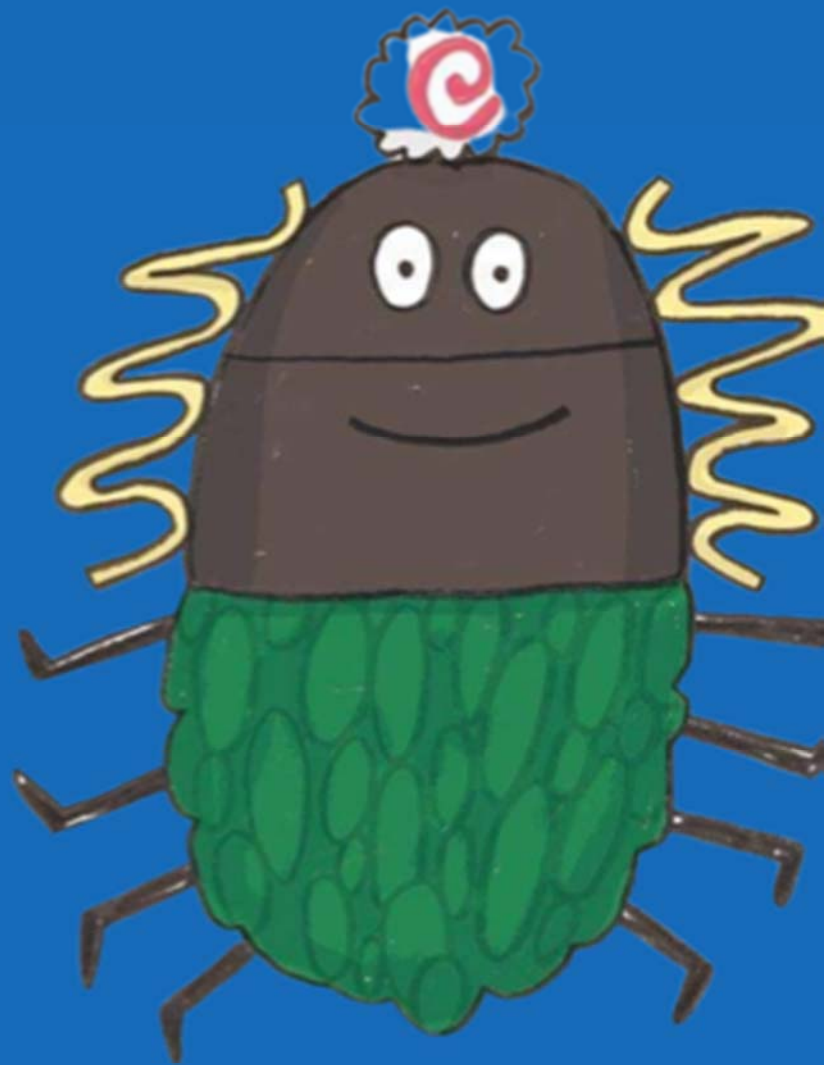


リンちゃんとターリンの大冒険

# ゴキブリラーメンゴーヤとオレ様



さく:たつき

RINDA  
PUBLISHING  
BOOK STORE

あるところに、「ゴキブリラーメンゴージャ」という名前の虫が住んでいました。

「ゴキブリラーメンゴージャ」はゴキブリのような形をしていますが、体はゴージャのように緑色をしていて、髪がラーメンで頭にナルトの渦巻をつけている虫です。

「ゴキブリラーメンゴージャ」には、こんな出来事がありました。

それは、野原を楽しくかけずり回って遊んでいた時のことでした。

急に巨大で強そうな真っ黒い虫があらわれて

「ここから先は、『オレ様』のジンチだ。だから君は遊んではいけないよ！」と

トウセンボウをされました。

「あなたの名前はなんですか？」と「ゴキブリラーメンゴージャ」がたずねると「オレ様だ！」と巨大な虫はエラそうな声で答えました。

「オレ様！すごい名前だね。君はどうして、そんなイジワルをするんだい？」と聞くと

「オレ様のジンチには、まほうのコインが かくしてあるんだ。だから、だれにもそれを取られたくないんだ」というのです。

「まほうのコイン？それはどうしたら見ることができるんだ？」とたずねると

「まほうのコインを探すやつらが、この地球にはいる。

オレ様の子分になって

まほうのコインを探す者たちのジャマをしてくれれば、いつかお前にも見せてやるさ」

実は「ゴキブリラーメンゴージャ」は人々が自分をみて

「キャーキャー」といやがる様子を見るのが好きでした。

だから、オレ様のいうことをすんなりと聞き入れて、  
ジャマをする役わりを引き受けてしまいました。

でもオレ様は、一度も「まほうのコイン」を見せてくれることはありませんでした。

ある日のこと、リンちゃんという女の子と、犬のダーリンに出会いました。

どうやら「まほうのコイン」を探しているようです。

これはジャマをしなければならぬと、「ゴキブリラーメンゴーヤ」は  
すかさず リンちゃんの肩に 飛び乗りました。

ところがです！

いつもなら、「キャーキャー」と言って逃げるはずの女の子が  
ちっともイヤがることがないのです。

女の子は「ゴキブリラーメンゴーヤ」に気づいていなかったのです。

そこに、大きな大きな体をした、真っ黒い虫の「オレ様」があらわれました。

リンちゃんとダーリン、  
そしてリンちゃんの肩に乗る「ゴキブリラーメンゴーヤ」の前に  
立ちはだかって、  
「これ以上、先へはいけないよ。」と  
トウセンボウをしてきたのです。

こわがる様子もなく  
「どうしたら先に行けるの？」とリンちゃんがたずねると  
「ジャンケンに勝ったら、先へ行かせてあげるさ」とオレ様は言いました。

ジャンケンをしてリンちゃんが勝ちました。  
でもオレ様はずっとトウセンボウをしたまま、  
先へ行かせてくれようとはしません。

その様子をじっとみていた「ゴキブリラーメンゴーヤ」は

「そういえば、僕も子分になれば、まほうのコインを見せてやると言われたけれど、これまでずっと 見せてくれたことがなかったな。もしかしたら、こんな風に僕もだまされていたのかもしれないな？」

そんな風に思うようになりました。

そして、「ゴキブリラーメンゴーヤ」は大事に大事に持っていた宝物の「モンスターボール」というアイテムをポケットから取り出しました。

そのボールをオレ様に投げつけたのです。

大きな大きな体をしたオレ様は、地面にバタンとたおれ、ぺったんこになりました。

すると、オレ様の胸のポケットから、なにやら「コイン」のようなものが、転がり出てきました。

「あれは、もしかすると、オレ様が言っていた「まほうのコイン」かもしれない」

そう思った「ゴキブリラーメンゴーヤ」はリンちゃんの肩の上から ぴよんと飛び降りて、その「コイン」を取りに行きました。

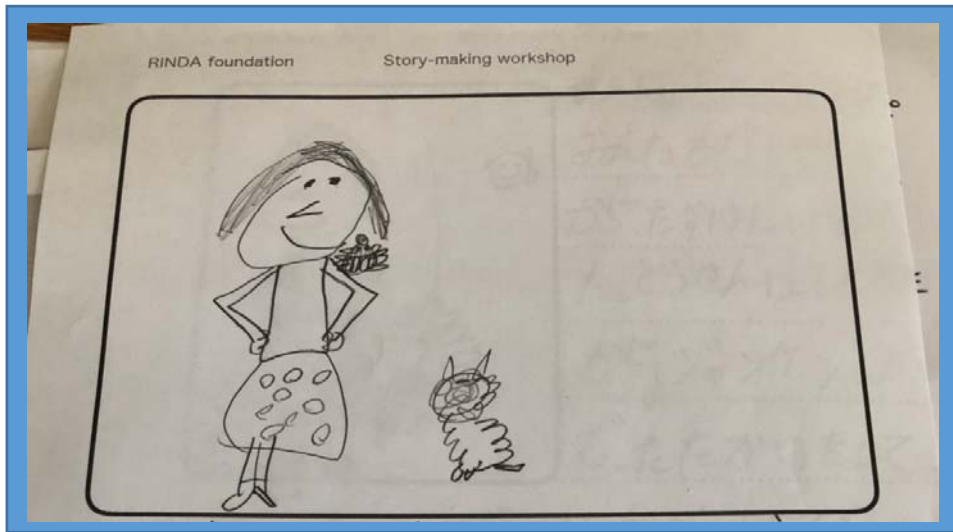
拾いあげてみましたが、そのコインは、光ることもない、ただのプラスチックでできた おもちゃのコインでした。

ニセモノのコインだったのです。

本物の「まほうのコイン」はどこにいけばあるのでしょうか？

リンちゃんとダーリンの旅は、これからも続きます・・・。





くたつきくんが作ったキャラクター：ゴキブリラーメンゴージャ

キャラクターシート

イメージ

性格

	考える	
うるさい		おだやか
	単純	

なまえ ゴキブリラーメンゴージャ

性別 おこ 9歳

特徴 きな物ときりな物が体の回りについてて、きりな物をつける頭の上になることがついている。ラーメンがゴージャらしい

好き・きらい

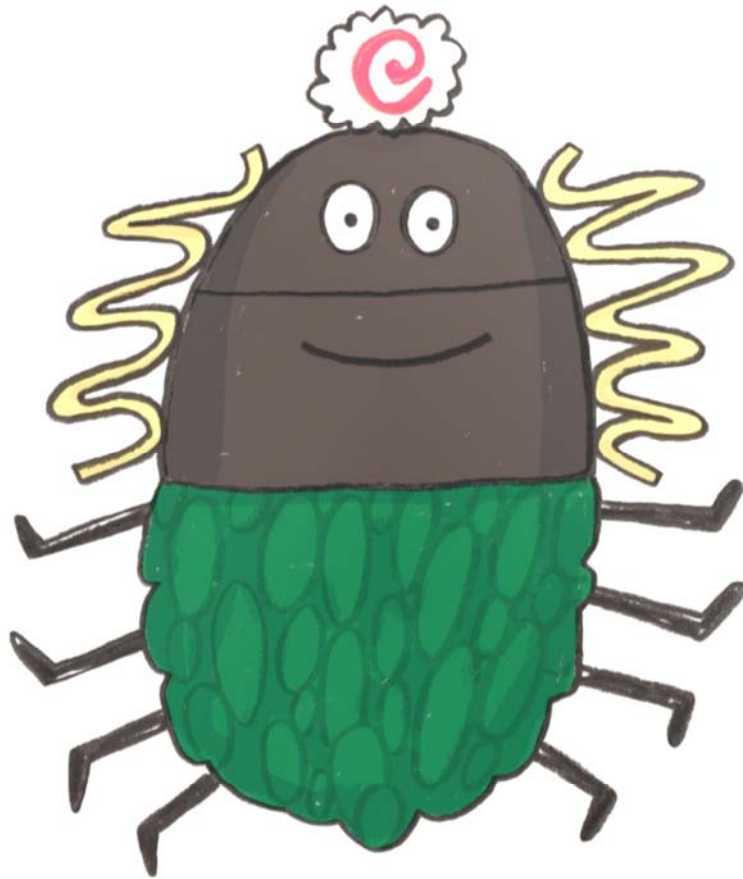
ラーメン

きりなゴージャ

口ぐせ ラメンはやない

その他

ゴキブリラーメンゴージャ





## 作 ● たつきくん

2010年 東京都生まれ。

## ● STAFF

編集 有川 凛

メンターコーチ 伊東峻志  
有川 凛

## RINDA foundation JAPAN (since 2018~) がこの本を作りました。

私たちは、子どもたちが主体となって自由な発想を広げ身のまわりや地球の困りごとについて、みんなが「笑顔」になれる活動をしています。

これからの未来を担う世界中の子どもたちとともに、人々が健康にくらせる持続可能な社会の実現に貢献すること、そして笑い声を常に聞くことができることを目指しています。

### 3つのE

EDUCATION (教育・共育)

EQUITY (公平さ)

ECOLOGY (エコ)

「3つのE」への取り組みを通じて、だれもが自分の価値を認め、「生きやすさのイコール(自分らしく生きられる世界)」を作ることをミッションとしています。

代表理事 有川 凛

### 有川 凛

1974年京都生まれ。社会が抱える問題解決や社会的価値の創出をはかるため、株式会社らしゅえっとを立ち上げる。企画開発した除菌水「まましゅっしゅ」が、2年連続キッズデザイン賞を受賞し、注目を集める。子育ての経験やアジアへの旅で出会った貧しい人々への衝撃が、世界の子どもの「笑顔・健康」を生み出す行動の舵を切るきっかけとなる。現在、一般財団法人RINDA foundation JAPANの代表理事として、また二人の男の子の母親として毎日を過ごしている。

リンちゃんとダーリンの大冒険

## ゴキブリラーメンゴーヤ

2021年3月19日

初版発行

作 たつき

発行者 有川 凛

発行所 RINDA PUBLISHING

〒182-0002 東京都調布市仙川町3-5-14-402

TEL 03-5969-8556 <https://rinda-f.org>

印刷・製本所 RINDA PUBLISHING

©2021 RINDA PUBLISHING, Printed in JAPAN

乱丁、落丁本はお取り替えます。本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写(コピー)することは、かたくお断りいたします。



### SMILE認証について

SMILE認証は「社会貢献ブランド」です。RINDA foundation JAPANが定める条件に見合った商品(サービス)、イベント、プロジェクトにSMILE認証が付与され、代金の一部が「思いやり」の気持ちとして当財団のスマイル基金に積み立てられます。積み立てられた基金は、RINDA foundationで活動する子どもたちが選び出した支援先に届けられる仕組みです。

RINDA  
PUBLISHING  
BOOK STORE



## 『世界をぐるり！こども絵本リレープログラム』は こんな思いをのせて、誕生しました。

「人は幼少期に自分自身の人生脚本を描くと、その通りになる」

カナダ出身の心理学者エリック・バーンの言葉です。  
幼少期につくられる人生脚本の多くは、周りの大人、特に権威となる親や先生からのメッセージが無意識の中に書き込まれ、無意識のうちに生き方を決め、それに従い行動をするとエリック・バーンは語ります。

そうであるならば、

「人生脚本を、子どもたちのWant-toにフォーカスして子どもたちが創造していくプログラムがつかれないものだろうか？」

「無意識に植え付けてしまっている『制限事項』を取り払って、子どもたちの人生脚本をよりよい脚本に変化させていくことができれば……」

その思いから『世界をぐるり！こども絵本リレープログラム』を立ち上げました。

このプログラムは、リンちゃん和ダーリンというコンビが『地球を助けるために魔法のコインをさがしにいく』というゴール設定のもとに、プログラムに参加する子どもたちがまず最初に自分自身を投影したキャラクター(アバター)を創作し、自分が主人公になる一話完結の冒険物語を作り、次の子どもへとリレー方式で紡いでいくものになっています。

冒険好きの子どもたちの想像力をかき立て、自分たちが息づく大地である「地球」の今を、それぞれが見つめ、気づいていけるように紡いでいきます。

絵本づくりの過程で自分は一体何者なのか？

どういった未来を描き、どのように考え、どのように動くのか？

をデザインしていくわけですから、それはまさに「人生脚本」そのものです。

単なる「お話づくり」「絵本づくり」にとどまらず、

その子自身の無意識の中に、よりよい物語(人生脚本)をつくりあげていくこのプログラムは、私たち大人がこれからの時代を創造していく子どもたちに選んであげられる「大きなギフト」のひとつになるはずです。

そして、その記念すべき第一話がこの『魔法のコインをさがしに』です。

この絵本を手にした子どもたちが

「今度は自分を登場させて、どんな役で、どんなふう生きようか！」

と、次々に小さな種を落とし、主体的に大きな木になっていく姿、花を咲かせ、実をつけていく様子を、想像するだけでも、幸せな気持ちになります。

### SMILE

~Sharing Miracle In Life Everyday~

一般財団法人 RINDA foundation  
JAPAN 創設者  
有川 凛



RINDA  
PUBLISHING  
BOOKSTORE